

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美

『米国の高速炉と軽水炉の廃止措置実態調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

原子力施設廃止措置等作業部会は米国の廃止措置の特徴を以下のようにまとめています。

- ・ エネルギー省（DOE）所管研究施設及び商用原子力発電所ともに、廃止措置業務を実質的に外部の専門事業者が担っている状況であり、廃止措置にあたって人員の相当部分が入れ替えられている。
- ・ DOEでは、廃止措置を外部の専門事業者により合理的かつ着実に実施できるよう、廃止措置の契約スキームの改善努力を重ねている。
- ・ 技術的課題の多いDOE所管施設や商用原子力発電所の廃止措置業務を受託した専門事業者が、技術能力と事業管理手法を発達させた廃止措置関連企業群を形成し、米国内及び国際市場で活動中。
- ・ 需要者と供給者の存在により、廃止措置業務の市場が相当規模で存在。

当連盟は廃炉に関する調査団を、2014年 第1次EU諸国、第2次EU諸国、2015年 第3次米国、第4次EU諸国、2017年第5次EU諸国に派遣して参りましたが、このたび第6次調査として引き続き、林道 寛 団長を中心に「米国の高速炉と軽水炉の廃止措置実態調査団」を企画・派遣致します。

また調査項目として、以下の点を重点に挙げております。

- 1) 廃止措置実施者
- 2) 廃止措置技術と放射性廃棄物管理
- 3) 国の方針と関与の在り方
- 4) 自治体の原子力発電所の廃止措置に関する係わり方と理解活動（地元企業の参加などを含む）

趣旨・調査項目、日程等につきましては別添の参加要項をご覧頂き、ご参加をお願い申し上げます。又、本調査にあたり、ご希望される質問事項について、ご意見ご助言を事務局までお寄せ下さいませお願い申し上げます。

ご参加頂ける場合は、別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、

平成30年10月11日（木）までに、下記 一般社団法人日本技術者連盟あて

FAX（03-6229-1940）もしくはE-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）にてお申込み下さい。

尚、米国エネルギー省より、必要書類の提出期限厳守の要請があるため、お早目の手続きをお願い致します。

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更が
ございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

敬具



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

URL : <http://www.jef-site.or.jp>

URL : <http://www.wkx21c.org>

『米国の高速炉と軽水炉の廃止措置実態調査団』

参加要項

1. テーマ : 『米国の高速炉と軽水炉の廃止措置実態調査団』
2. 期間 : 2018年11月25日(日)～12月2日(日) 8日間
3. 主催 : 一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF)
4. 団長 : 林道 寛氏 一般財団法人エネルギー総合工学研究所
原子力工学センター 特任参事



■ 略歴 ■

- 1978年 動力炉・核燃料開発事業団 入社
- 1994年 動力炉開発推進本部
もんじゅ計画管理課長
- 1998年 (財)デコミッションング研究協会
情報管理部次長
- 2003年 核燃料サイクル開発機構 経営企画本部
バックエンド推進部 次長
- 2005年 (独)日本原子力研究開発機構
バックエンド推進部門 副部門長
- 2008年 同部門 部門長
- 2013年 一般財団法人エネルギー総合工学研究所

《研究分野》 廃止措置技術、低レベル放射性廃棄物処理処分

《社会的活動・学会活動》

- 2004年-2012年 OECD/NEA 各作業部会の委員を歴任
- 2008年-2010年 IAEA International Decommissioning Network (IDN) 委員
- 2012年-2013年 IAEA Decommissioning Technology Update 技術報告書作成メンバー
- 2012年- IAEA IDN Working Gr (IDN WIKI) 作成メンバー
- 2012年-2014年 日本原子力学会 東電福島第一発電所事故調査委員会委員
- 2014年-2016年 OECD/NEA Expert Group on Fukushima Waste Management and Decommissioning R&D 副議長
- 2014年- 日本原子力学会 東電福島第一発電所廃炉対策委員会委員 委員
- 2015年-2017年 IAEA The development of Training Course Material on Decommissioning 作成メンバー

5. 趣旨 :

当連盟は廃炉に関する調査団を、2014年 第1次EU諸国、第2次EU諸国、2015年 第3次米国、第4次EU諸国、2017年第5次EU諸国に派遣して参りましたが、このたび第6次調査として引き続き、林道 寛 団長を中心に「米国の高速炉と軽水炉の廃止措置実態調査団」を企画・派遣致します。

6. 調査項目 :

(1) 高速炉・軽水炉の廃止措置や
放射性廃棄物管理の実態と技術開発

- ・ Naの処理・処分
- ・ 廃止措置計画(計画書や工程)
- ・ 解体技術(技術開発を含む)
- ・ 解体後の機器・配管に付着したNa除染方法
- ・ 廃棄物処理(除染技術を含む)
- ・ 廃棄物貯蔵
- ・ 廃棄物処分(ライセンス・処分場)
- ・ 廃止措置資金

(2) 理解活動と地域の活性化

- ・ 地元企業の参画状況
- ・ 利害関係者への理解活動の実態と利害関係者の関わり
- ・ 広報活動

7. 訪問先及び概要：

* 訪問先は都合により変更する場合もございますので、予めご了承ください。

1) ハンフォード・サイト内 高速炉FFTF

ワシントン州

エネルギー省はEBR-II(高速実験炉)とFFTF(高速材料試験炉)の運転を続けていたが、いずれも廃止措置となった。FFTFは、1992年に原子炉を停止し、燃料取出し後、ナトリウムの抜き取りを行い、2030年に廃止措置を終了する予定である。

2) バーモントヤンキー 原子力発電所

バーモント州 ウィンドハム

ボストンより車で約2時間の場所にある。1972年に運転を開始。2032年まで運転可能な設備だったが2013年に経済的な理由で運転停止が決定された。同原発は“safe-store”(安全貯蔵)の状態に置かれ、遅延解体を行う予定であったが、NorthStar社に売却し、即時解体を行うことになった。

3) NorthStar 社

ニューヨーク

ノーススターは、原子力以外の解体作業を行ってきている会社で、原子力施設についてはDOEの5つの施設の解体作業を実施している。

4) 原子力エネルギー協会 (Nuclear Energy Institute : NEI)

ワシントンDC

1994年、業界における唯一の政策対応組織として、規制対応を行う原子力管理人材協議会(NUMARC)と、議会对応を行う米国原子力協議会(ANEC)及びエジソン電気協会(EEI)の原子力部門、広報活動を行う米国エネルギー啓発協議会(USCEA)を統合し、設立。原子力発電会社、設計・エンジニアリング、燃料供給会社、サービス会社、大学や研究所、労働団体などからなる原子力発電・原子力技術産業に関する政策機構。原子力発電・技術産業に影響する重要法制政策を立案し、規制当局や議会などにロビー活動を行い、制度実現を図る団体。核セキュリティ、サイバー・セキュリティの民間規格も作成。

8. 募集人員：15名 (最少催行人数10名)

※催行人数10名に満たない場合及び日程その他変更が生じた場合には、参加費に変更がありますことを予めご了承下さい。

9. 参加費：¥980,000-(税別)

※現地参加・現地解散の場合は事務局までお問い合わせください。

10. 通訳者：ベテラン適任者

11. 添乗員：添乗員は全行程同行いたします。

12. ホテル：一人部屋

13. 旅行主催：万達旅運株式会社ワンダートラベル

14. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

(〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL: 03-6229-1950)

15. 申込方法：添付申込書に必要事項記入の上、**2018年10月11日(木)**までにFAX (03-6229-1940)

又はE-mail (gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。申込み受付後、旅行主催である万達旅運株式会社(ワンダートラベル)より手続きに関するご連絡をさせていただきます。

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。

16. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

URL : <http://www.jef-site.or.jp>

URL : <http://www.wkx21c.org>

米国の高速炉と軽水炉の廃止措置実態調査団 日程表

2018年11月25(日)～12月2日(日) 8日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	11/25 (日)	成田(NRT)発 シアトル(SEA)着 シアトル発 リッチランド着	UA-7930 AS-2180	16:00 18:15 10:20 14:10 15:05	成田空港第一ターミナル4F (UA/NH)カウンター集合 ユナイテッド航空(全日空共同運航便)にてシアトルへ アラスカ航空にて、リッチランド/トリシティーズ空港(PSC)へ ★結団式 リッチランド泊	機内食 昼 ○ 夕 ○
2	11/26 (月)	リッチランド滞在 リッチランド発 シアトル着	専用車	午後 夜	ハンフォード・サイト 高速炉FFTFと関連施設 訪問 シアトルへ移動(約340Km) シアトル泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	11/27 (火)	シアトル(SEA)発 デンバー(DEN)着 デンバー(DEN)発 ボストン(BOS)着	UA-5389 UA-1485	10:55 14:27 15:49 21:31	デンバー乗継にてボストンへ ボストン泊	朝 ○ 昼 機 夕 機
4	11/28 (水)	ボストン滞在 ボストン(BOS)発 ニューヨーク(EWR)着	専用車 UA-2047	19:08 20:40	VERMONT YANKEE 原子力発電所 訪問 ニューヨークへ移動 ニューヨーク泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	11/29 (木)	ニューヨーク滞在 ニューヨーク(EWR)発 ワシントンDC(DCA)着	専用車 UA-3644	17:00 18:23	NORTH STAR HEAD OFFICE 訪問 ワシントンDCへ移動 ワシントンDC泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	11/30 (金)	ワシントンDC滞在	専用車		NEI 訪問 ★解団式 ワシントンDC泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	12/01 (土)	ワシントンDC(IAD)発	UA-803	12:35	ユナイテッド航空直行便にて帰国	朝 ○ 機内食
8	12/02 (日)	成田(NRT)着		16:45		

*上記日程記載の訪問先は、訪問予定先で、これからのアポイント状況により変更になる場合があります。

*上記日程記載の航空便は予定便で、実施時に発着空港、利用便が変更になる場合があります。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日記記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 団長、添乗員、通訳(一部同行)費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- ・ 現地手配費用
- ・ 打合せ会/現地配布資料代他
- ・ 現地事前打合せ出張諸費用

III) 企画・運營業務費

- ・ 企画運営費

その他

◆参加費は、2018年8月21日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したものです。ご出発前に参加人員に変更のあった場合、参加費用が変更になる場合もございますので予め、ご了承下さい。

◆尚、お申込み後、諸般の事情でご参加をお取り消しされる場合につきましては、運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱料等)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

- ◎旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで:費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで:費用の50%
- ・ 実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。
- ◎諸般の事情でご参加をお取り消しされる場合につきましては、企画・運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人日本プライバシー認証機構 会長 / 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター 理事長/ 原子力規制委員会 核セキュリティに関する検討会 委員
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph. D.
監事	寺村 康佑	株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木宜彦	元通商産業省原子力安全・保安院 院長 元一般財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆	元通商産業省資源エネルギー庁 長官 元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	荒井 利治	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長
	宅間 正夫	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎	一般財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学)
	小川 順子	東京都市大学准教授 女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長
	金氏 顯	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事
	河原 諱	元一般社団法人日本原子力学会 会長
	佐川 渉	元一般社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士
	関村 直人	東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士
	多田 伸雄	一般社団法人日本電機工業会 原子力部長
	渥美 法雄	電気事業連合会 原子力部長
	新田 隆司	元 日本原子力発電株式会社 常務取締役
	藤井 靖彦	東京工業大学名誉教授 工学博士
	宮野 廣	特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 工学博士
	諸葛 宗男	科学技術コンシェルジュ NPO法人パブリック・アウトリーチ(PONPO) 上席研究員 元東京大学公共政策大学院特任教授

『国際原子力発電機器・部品コンソーシアム』委員会

委員長	鷺見 禎彦	元関西電力株式会社 代表取締役副社長 元日本原子力発電株式会社 代表取締役社長
委員	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問 主席研究員
	尾本 彰	東京工業大学 特任教授 工学博士
	諸葛 宗男	科学技術コンシェルジュ NPO法人パブリック・アウトリーチ(PONPO) 上席研究員 元東京大学公共政策大学院 特任教授 元公益財団法人核物質管理センター理事長 原子力規制委員会 核セキュリティに関する検討会 委員
顧問	佐々木 宜彦	元通商産業省原子力安全・保安院 院長 元一般財団法人発電設備技術検査協会 理事長
	野々内 隆	元通商産業省資源エネルギー庁 長官 元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	宮野 廣	NPO法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 工学博士 元東京電力株式会社 代表取締役副社長 工学博士 元一般財団法人日本原子力文化財団 理事長 理学博士

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL : 03-6229-1946 / 03-6229-1950

※ お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又はE-mail : gyomu1@jef-site.or.jpでお送り下さい。

『米国の高速炉と軽水炉の廃止措置実態調査団』 参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行 FAX 03-6229-1940

※該当欄にチェックして下さい

訪問先に持参する資料 有 (内容:) 無

フリガナ			
会社名・団体名	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4cm × 3cm ● 脱帽・正面・背景無地 ● パスポート顔写真の スキャンコピーでも可 		
英文名			
所属名/役職名			
英文名			
フリガナ	参加者氏名	生年月日	西暦 年 月 日
パスポート記載名 (ローマ字)		学位	
E-mail		携帯電話番号	
勤務先	ご住所	〒 -	
	電話番号	FAX番号	
ご自宅	ご住所	〒 -	
	電話番号		
フリガナ			
担当責任者名	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			
旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)			
① はい	<input type="checkbox"/> 旅券番号:	有効期限: 西暦 年 月 日	
② いいえ	<input type="checkbox"/> 現在申請中 <input type="checkbox"/> 旅券の作成代行を依頼する。(有料) <input type="checkbox"/> 自分で申請・取得する		
喫煙の習慣	有 ・ 無	マイレージをお持ちの方は番号を記載して下さい	
通信欄 (ご質問・ご希望等お書き下さい)			

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1.個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2.個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア.ご本人の同意がある場合

イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3.個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル (担当: 梶山 満)

TEL : 03-6229-1950 FAX : 03-6229-1940

TEL : 03-5157-2207 FAX : 03-5157-2208